

■永倉あい子 編集者。戦後の{中央公論社}の企画をリードした。
ながくらあいこ
ロシア革命・1917 = 青森県で生まれる。

原敬首相暗殺1921 = 4歳：

円本時代始・1926 = 9歳：

満州事変・・1931 = 14歳：

芥川直木賞始1935 = 18歳：

日中戦争始・1937 = 20歳：

日米開戦・・1941 = 24歳：_青森市の女学校を卒業し、上級の学校に進学したい一念から、

創価学会検挙1943 = 26歳：知人の紹介で上京して中央公論社に入社、調査部に籍を置き、夜は明治大学の新聞高等研究科に通うが、
年金+総武装1944 = 27歳：雑誌の整理統合政策で{婦人公論}が休刊後、社長の嶋中雄二が改造社の山本実彦社長とともに情報局に呼
び出され、同社に廃業命令が出たため、実業之日本社に移って{新女苑}編集部配属、中央公論社関係では
敗戦・・・・1945 = 28歳：7人が留置され、拷問と栄養失調でうち2人が獄死するうち(横浜事件)、
青森空襲で実家も焼失、何とか立退き先の肉親と会い、敗戦とともに上京、復活した中央公論社に復帰し
、{婦人公論}編集部へ属す。
新憲法公布・1946 = 29歳：_用紙割当てのため規格外の紙に印刷し、{婦人公論}復刊第1号を発刊する一方、この年発足した日本ジャー
ナリスト連盟の発起人に唯一人の女性として参加、婦人民主クラブ結成にも中央委員となるなど、民主化運
動に積極的に関わり始め、

独立回復・・1951 = 34歳：この年設立された出版各社の組合が参加する出版労組懇談会にも参加、
テレビ放送始・1953 = 36歳：この年、*{婦人公論}に連載した伊藤整の「女性に関する十二章」を新書判で刊行して大ヒット、
自衛隊発足・1954 = 37歳：この年、*{婦人公論}に連載した伊藤整の「女性に関する十二章」を新書判で刊行して大ヒット、
55年体制始・1955 = 38歳：出版労組懇談会が日本ジャーナリスト会議を創立し、
国連加盟・・1956 = 39歳：この年、大新聞独占の週刊誌市場に、出版社の{週刊新潮}が創刊されてブームを引き起こしたことから、

インストラメン・1958 = 41歳：出版労組懇談会が出版労協へ発展する間、活動を続け、
美智子妃・・1959 = 42歳：{週刊コウロン}の創刊させ、
安保闘争・・1960 = 43歳：その編集部次長となるが、{中央公論}に掲載された深沢七郎の「風流無譚」により嶋中事件が起こり、
タイタイ病始・1961 = 44歳：{週刊コウロン}も廃刊を余儀なくされる。第二出版部次長に就任すると、
全国総合計画1962 = 45歳：*{中公新書}を創刊し、第一弾として桑原武夫「日本の名著」ほか五点を刊行、

_以後、その企画編集に従事して多くのロングセラーを生み出し、

大阪万博・・1970 = 53歳：_{中公新書}の編集部長となる。
ドルショック・・1971 = 54歳：

石油ショック1973 = 56歳：

貿易摩擦始・1980 = 63歳：

中曽根内閣・1982 = 65歳：

・・・・・1984 = 67歳：_定年退職するが、以後も参与として関わり、

昭和天皇死・1989 = 72歳：

55年体制終・1993 = 76歳：

・・・・・1996 = 79歳：_没した。